

札幌市のこれまでの適正配置の取り組み

1【小規模校の解消】(昭和40年以降)

都心部や山間部において児童数・生徒数が減少したことに伴い、学校の統合等を行って小規模校の解消を行ってきました。

昭和40年4月 中央創成小学校と西創成小学校を統合し、創成小学校設置

昭和43年8月 一条中学校と陵雲中学校を統合し、中央中学校設置

昭和44年4月 東小学校と東北小学校を統合し、中央小学校設置

昭和44年3月 滝野中学校を廃止(常盤中学校へ統合)

昭和46年3月 滝野小学校を廃止(常盤小学校へ統合)

昭和50年3月 盤溪中学校を廃止(向陵中学校へ統合)

昭和51年3月 白川小学校を廃止(藤野小学校へ統合)

平成14年3月 豊羽小中学校を廃止(定山溪小学校・定山溪中学校へ統合)

平成16年3月 創成小学校、大通小学校、豊水小学校、曙小学校を統合し、
資生館小学校設置

2【大規模校の解消】(最近の新設校)

市街化区域の拡大等により児童数・生徒数が増加した場合には、既存校から分離(新設)し、大規模校の解消を行ってきました。

平成9年4月 美しが丘緑小学校設置

平成10年4月 厚別北中学校設置

平成12年4月 星置中学校設置

平成14年4月 百合が原小学校設置

平成17年4月 屯田北小学校及び屯田北中学校設置(予定)

3【検討組織等】

平成9年から平成10年 「都心校懇話会」

委員：市立学校(小規模校)の校長

平成11年から平成12年 「札幌市学校適正規模検討懇談会」

委員：有識者、PTA代表、市立学校校長

平成16年12月設置 「札幌市学校適正配置検討懇談会」

委員：有識者、PTA代表、市立学校校長、公募委員